

岡山市教育委員会

教育長 玉光 源 様



岡山市教員労働組合
中央執行委員代行 花田 雅行
学校支部長 服部 美



学校給食の充実を求める要求書

社会環境が変わる中で、子ども達の食環境が大きく変わってきています。親の長時間・過密労働、またリストラによる首切り等で完全失業者も300万人を超える状況になっています。このような中で食事を一人で食べる子どもが急速にふえ、学校給食が唯一の栄養補給になっている子もいます。外食も増え、栄養のバランスがくずれていることも問題になっています。脳の発達にとって食べ物を良くかむ事が重要な事はもちろん、「切れる子と食事の因果関係」を指摘する学者もいるほど、「食」はますます大切になっています。

そのような食をめぐる状況の中で、教育委員会はコスト削減を目的に学校給食の民間委託試行を昨年から始め、今年はさらに5校拡大しようとしています。その方向は保護者をはじめ地域住民や職員の理解を得る物ではありません。「決めるのは教育委員会」と言い放つなど、住民自治の原則を踏みにじり主権者の意思を無視する時代錯誤も甚だしい非民主的な教育委員会の態度に、市民は岡山市政全体に対する不信感を募らせています。また民間委託の試行が行われた地域では、今でも地域のコミュニティーが壊されています。まさに直営での改善努力を投げ捨て、民間委託をこり押しする教育委員会の強引なやり方が、今大きな社会問題になっています。

私たちは教育委員会が民間委託を止め、職員の誇りを取り戻し豊かな学校給食を実現し地域の信頼を取り戻すために、下記の要求を提出しますので早急に誠意ある回答をするよう求めます。

記

1. 民間委託校を2学期から直営に戻し、拡大しないこと。
2. 西大寺中学校の職員体制をつぎのことにすること。

現在調理員4名は、正規職員3名、臨時職員1名となっていますがこれを正規職員2名、4時間パート4名にすること。

2名を民間委託した場合年間約800万円委託料が必要だが直営で2名分をパート化したら約300万円の人件費でできる。コスト削減を言うならパートの方が人件費の削減になるので2学期から実施すること。

3. 2学期より西大寺中学校、興除センターで自校献立・自校購入を実施すること。
4. 西大寺中学校では自校炊飯も実施すること。また老人への配食サービスの実施に向け調査・研究を行い、実現可能なら実施するので協力すること。